

2022年11月10日

対セントルシア無償資金協力「ショゼール漁港改善計画」署名式

2022年11月10日、午前11時30分、セントルシアの首都カストリーズにある財務省において、「ショゼール漁港改善計画」に関する署名式が実施されました。この12.63億円（約850万米ドル）の無償資金により、ショゼール漁港の機能改善に係る事業が実施されます。

日本政府を代表して鎌田康彦臨時代理大使が交換公文に署名し、セントルシア政府からはフィリップ・ピエール首相が署名者として出席したほか、アルバ・バティスト外務・国際貿易・航空・海外移住者大臣、アルフレッド・プロスペー農業・漁業・食料安全保障・村落開発大臣、ブラッドリー・フェリックス・ショゼール地区選出議員、三村一郎 JICA セントルシア事務所長、セントルシア政府関係者等が出席しました。

ショゼール漁港では、港の入り口において砂が堆積する問題が発生しており、港の閉鎖や浚渫費用の増大など、漁業部門の経済活動が制限されてきました。この無償資金協力により、ショゼール漁港の利用者の安全で安定した操業が可能となり、セントルシアにとって重要な産業である水産業の効率化が期待されます。

日本政府は、カリブ諸国の強靱向上化及び繁栄のため、防災、環境、エネルギー、廃棄物管理、水産業等の様々な分野における支援を継続し、カリブ諸国との協力的かつ友好的な関係を更に促進していきます。



ピエール首相と鎌田臨時代理大使による署名



(左写真、左から右) プロスペア農業大臣、バプティスト外務大臣、ピエール首相、鎌田臨時代理大使、三村所長、フェリックス議員



ショゼール漁港及びショゼール水産施設

お問い合わせ

在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班

Tel: (868)-628-5991/3

Email: ecocoop@mofa.go.jp